

# ひろば



HIROBA

発行日：2025.12.5 発行人：安達 洋次郎

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732 (事務局)

<https://kougei-dousoukai.jp> [kougei\\_dousoukai@kougei-dousoukai.jp](mailto:kougei_dousoukai@kougei-dousoukai.jp) (受信専用)

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2026

メインビジュアル「夢をはこんで どこまでも」岡崎 月読 (デザイン学科4年)

## 目次

定時会員総会

役員一覧

同窓会会長賞・奨学金授与式

決算書・予算書

中野祭

細江英公先生を偲ぶ会

韓国国際交流

卒展/卒展×同窓のつどい予告

ひろばのページ



# 令和7年度定時会員総会

7月22日(火)本学、中野キャンパス 1号館において令和7年度定時会員総会が開催されました。

安達会長による挨拶に続き、議長就任並びに開会が宣言されました。次に議長より議事録署名人及び書記が選任され、本定時会員総会が成立要件を満たしていることが事務局より報告されました。

第1号議案「令和6年度事業報告書及び決算報告書の承認」について事業報告を事業委員会、総務委員会、広報委員会、名簿委員会及び100周年事業委員会、決算報告を会計委員会より報告され、監事による監査報告がおこなわれました。

第2号議案「会則改定の承認」については、本同窓会会則の「第3章 役員 第9条(任期)」及び「第5章 会計 第17条(会費)」の改定(案)が提案されました。

第3号議案「役員改選の承認」については、令和7・8年度の理事、監事及び2024年度の卒業生11名を含む代表委員の各候補者が推薦され、全ての議案が全会一致により承認されました。

報告事項の「令和7年度事業計画」を事業委員会、総務委員会、広報委員会、名簿委員会及び「令和7年度予算計画」については、会計委員会より報告がおこなわれました。

「同窓会会長賞受賞者」は、大学より学生12名(7組)、「同窓会奨学金授与者(学部生、大学院生)」については、学生6名の推薦があり、前期定例理事会において承認され確定したことが報告されました。



冒頭で挨拶する  
安達会長

「同窓会創立100周年記念事業」については、ホームページのリニューアル、来年9月5日(土)開催予定の式典及び祝賀会、その翌日開催予定の第6回支部長会議並びに出版物の様々な企画について進捗状況が報告されました。ホームページは、新しいコンテンツを組み込んだサイトを第一段階として全てを更新し本年1月に公開、第二段階としては、より活性化に繋がりコミュニケーション可能なサイトの公開を来年8月に予定していることが報告されました。

その他、小田 俊春北海道支部長より北海道警察

で鑑識を務められていた前北海道支部長の筒渕 美允氏(37期)が本年、春の叙勲で瑞宝双光章を受章されたことが報告され、議長より閉会が宣言されました。

山口 敏郎(56期)



# 東京工芸大学同窓会 令和7・8年度役員一覧

任 期 令和7年度定時会員総会翌日～令和9年度定時会員総会当日迄  
但し、令和4年(2022年)3月卒業(97期)及び令和6年(2024年)3月卒業(99期)の  
現・代表委員については、令和8年度定時会員総会当日迄  
※ 会則：第3章 役員(任期)第9条 1項、2項)

名誉会長	吉野 弘章(学長)		
顧問	堀内 陽二(32期)	川名 晴美(34期)	
会長	安達 洋次郎(39期)		
副会長	進藤 博信(47期)	内藤 明(47期)	
専務理事	立川 宏司(42期)	三上 賢(61期)	上田 耕一郎(75期)
常務理事	山口 規子(61期)	宮崎 洋(62期)	熊切 大輔(64期)
	木下 恵修(70期)	小宮 広嗣(73期)	勝倉 峻太(75期)
	岡本 久美子(76期)	小川 誠(77期)	
会計監事	上條 正名(43期)	磯田 正和(79期)	
理事	内田 勲(39期)	岡村 征夫(41期)	小山 昌男(42期)
	小林 俊郎(44期)	金居 光由(54期)	有馬 秀樹(65期)
	工藤 洋司(73期)	新城 敦(73期)	田中 博道(73期)
	上田 風子(76期)	遠藤 拓人(78期)	石井 清士(82期)
	岸 剛史(83期)	高島 圭史(86期)	菅泉 亜沙子(88期)
	長田 夏実(89期)		
	栗原 昌美(大学事務局長、中野事務部長)		
	松尾 未来(中野キャンパス学生課長兼就職支援課長)		
代表委員	山田 仁(38期)	新藤 健一(39期)	川端 秀樹(41期)
	小関 雅章(51期)	坂本 佳子(81期)	福田(川野) 美緒(82期)
	川島 崇志(83期)	大澤 暁空(84期)	伊藤 哲史(85期)
	篠田 優(88期)	影山 あやの(89期)	蛭田 真渚(90期)
	細野 彩音(93期)	高松 千愛里(96期)	中林 優香(96期)
	刈田 ルーク(97期)	二ノ宮 颯太(97期)	伊藤 湧(97期)
	石井 琉偉(97期)	高森 千瑛(98期)	朝隈 凜(98期)
	土田 友梨奈(98期)	岩口 ことは(98期)	齋藤 舞(98期)
	鈴木 順也(98期)	上村 莉穂(98期)	湯原 奈々美(98期)
	大矢 彩加(99期)	首藤 琳華(99期)	増田 峻也(99期)
	宝積 一蔵(99期)	土屋 研斗(99期)	関森 彩水(99期)
	清水 希倫(99期)	藤本 祐菜(100期)	山田 優妃(100期)
	椎橋 仁子(100期)	只野 雅人(100期)	ZHENG FENGLI(100期)
	望月 壮(100期)	荒井 爽太郎(100期)	萩野 凜太郎(100期)
	小林 郁偉(100期)	麻生 侑樹(100期)	杉山 太陽(100期)

以上



## 令和7年度 同窓会会長賞・奨学金

令和7年度の同窓会会長賞と奨学金が授与されました。会長賞は芸術学部3、4年次生が対象で、優れた作品を制作した学生、将来有望であると認められる作品を制作中の学生へ贈られます。また奨学金は修学継続の意志が強固である芸術学部

3、4年次生に対して支給されます。7月22日の大学中野キャンパス大講義室で行われた総会後、引き続き授与式が挙行され、今後の活躍が期待される学生に授与いたしました。

### 令和7年度東京工芸大学同窓会会長賞

学科	学年	氏名
写真学科	4年	濱中 美唯菜 (グループ代表)
		中根 健太
映像学科	4年	該当者なし
デザイン学科	4年	神谷 洸平
	4年	HWANG YOUNGSEOK (ファン ヨンソク)
インタラクティブメディア学科	4年	飯島 徳文
アニメーション学科	3年	裸野 まどか
マンガ学科	4年	岸田 千聖
ゲーム学科	3年	荒井 恒輝 (グループ代表)
		岩下 礼奈
		鹿子木 樹
		菊池 萌絵 木村 瞭太

### 令和7年度東京工芸大学同窓会芸術学研究科奨学金

所属	学年	氏名
芸術学研究科(メディアアート専攻)	2年	椎原 蓮水
	2年	齋藤 達也

### 令和7年度東京工芸大学同窓会芸術学部奨学金

学科	学年	氏名
写真学科	3年	ZHUANG ZILIN (ショウ シリン)
映像学科		該当者なし
デザイン学科		該当者なし
インタラクティブメディア学科	4年	谷口 樹大
アニメーション学科	3年	馬場 那菜
マンガ学科	4年	白石 鈴太郎
ゲーム学科		該当者なし



## 同窓会会長賞・奨学金授与 懇親会

授与式に引き続き、会場を2号館プレイス(学食)に移して、懇親会が開催されました。常務理事の山口規子氏と熊切大輔氏の絶妙なコンビネーションによる司会で進行していききました。スクリーンに会長賞の学生作品が投影される中、会長賞・奨学金を授与された学生にインタビューし

ながら受賞・授与の喜びの言葉を聞くことができました。また、学生の指導教員、学科主任、事務職員など大学関係者にも多くご出席頂き、同窓会関係者との親睦を深めることができました。

上田 耕一郎(75期)





## 同窓会会長賞「受賞の言葉」

### 濱中 美唯菜(写真学科4年・グループ代表)

この度は、栄えある同窓会会長賞を賜り、心より御礼申し上げます。夜遅くまで議論を重ねながら粘り強く制作を続け、その努力が実を結んだと実感しております。本作を共に仕上げた仲間、指導教員の先生方、近くで支えてくれた家族・友人に深く感謝いたします。今回の受賞は自分にとって大きな自信となりましたが、驕ることなく、これからも地道に丁寧に目の前の制作と向き合っていきたいと思いません。この経験を活かして、今後も学びを積み重ねていきたいです。

### 神谷 洸平(デザイン学科4年)

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。HBファイルコンペティションでの特別賞に続き、同窓会会長賞を頂けたことに、驚きと共に深い感謝の気持ちでいっぱいです。制作では思うようにいかない時間も沢山ありました。そんな中、日々ご指導くださった先生方の言葉が、迷いを乗り越える大きな支えとなりました。この受賞は、大学で出会った環境や人々の支えがあってこそその成果です。今後も、作品を通して誰かの心に触れられる表現を目指し、制作に励んでまいります。

### HWANG YOUNGSEOK(デザイン学科4年)

このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に思います。最初に受賞の知らせを聞いたときは、信じられない気持ちでいっぱいでした。支えてくださった先生方や仲間のおかげで、ここまで来ることができました。今回の受賞を励みに、これからも学びを深め、自分らしい表現を追求していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

### 飯島 憇文(インタラクティブメディア学科4年)

この度は、栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。誠にありがとうございます。制作期間は短く、予算は僕の1ヶ月のバイト代。それでもここまで来れたのは、優秀すぎるスタッフのおかげです。本当に全員に足を向けて寝られません。この『超覚人』という映画は、「人と違うこと」をテーマに、異質さが否定されがちな今の時代に問いかける作品です。自身の卒業制作では続編を制作予定なので、ぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです。これからも、誰もがワクワクするようなエンタメ映像を作り続けていきたいと思えます。

### 裸野 まどか(アニメーション学科3年)

この度は、大変名誉な賞をいただき光栄に思います。大学から始めたアニメーションでの賞、まずは日頃らご指導ご鞭撻頂いている皆様へ心より感謝申し上げます。また好きな事を学べるこの環境を築いてくれた家族に感謝いたします。当たり前では無い事だと思えます。この環境があったからこそ私

はこの作品を作り上げる事ができました。自主制作第二作品目となるこの作品はコンペティションにもノミネートされ、多くの方にご視聴いただき、大変嬉しく思います。今後もこの受賞を励みに、自走力と意力を活かし高みを目指して精進して参ります。

### 岸田 千聖(マンガ学科4年)

この度は、大変名誉ある賞を授与していただき誠に嬉しく思っております。私の漫画活動は本校に入学してから始まったと言っても過言ではありませんので、これまでの努力を肯定されたようで励みになりました。大した技術も無くまっさらだった私にたくさんのことを教えてくれた本校に恥じぬよう、これからも精進して参ります。まだまだ駆け出しの漫画家ではありますが、より良い作品を生み出し続け、いつか連載を勝ち取りたいと思います。

### 荒井 恒輝(ゲーム学科3年・グループ代表)

このたびは栄えある表彰を賜り、誠にありがとうございます。今回の受賞は、同好会の仲間と共に制作したゲームが評価された結果であり、支えてくださった皆様のお力添えの賜物です。今後も学びを深め、より多くの方楽しんでいただける作品づくりに励んでまいります。



令和6年度(2024年) 東京工芸大学同窓会決算書

【一般会計】 <自: 令和6年5月1日～至: 令和7年4月30日> (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 会費, 2 雑収入, 3 前期繰越, and 合計.

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 事業費, 2 会議費, 3 管理費, 4 特別会計, and 合計.

【特別会計・総務委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 総務委員会会計 令和7年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・名簿委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 名簿委員会会計 令和7年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・基本財産】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 資産残高 令和7年度へ繰越, 差引残高.

【残高証明書発行手数料用口座】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 証明書発行手数料, 小計, 三井住友銀行 残高証明書発行口座 令和7年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・100周年記念事業委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度予算額, 令和6年度決算額, 令和6年度決算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 基本財産より繰入, 合計, 支出の部, 100周年記念事業委員会会計 令和7年度へ繰越, 差引残高.

令和7年度(2025年) 東京工芸大学同窓会予算書

【一般会計】 <自: 令和7年5月1日～至: 令和8年4月30日> (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 会費, 2 雑収入, 3 前期繰越, and 合計.

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 事業費, 2 会議費, 3 管理費, 4 特別会計, and 合計.

【特別会計・総務委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 総務委員会会計 次年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・名簿委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 名簿委員会会計 次年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・基本財産】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 資産残高 次年度へ繰越, 差引残高.

【残高証明書発行手数料用口座】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 一般会計より繰入, 合計, 支出の部, 証明書発行手数料, 小計, 三井住友銀行 残高証明書発行口座 次年度へ繰越, 差引残高.

【特別会計・100周年記念事業委員会会計】 (単位: 円)

Table with 4 columns: 科目, 令和6年度決算額, 令和7年度予算額, 令和7年度予算額. Rows include 1 前期繰越残高, 2 預金利息, 3 雑収入, 4 基本財産より繰入, 合計, 支出の部, 100周年記念事業委員会会計 次年度へ繰越, 差引残高.



## 中野祭

2025年10月12日(日)・13日(月・祝)に中野キャンパスの中野祭が開催されました。今年のテーマは「FLOWER」。このテーマには、それぞれの企画などでやりたいことや個性を思う存分開花させて、色鮮やかな中野祭にしたいという意味が込められています。キャンパス内の装飾にも、実際に見ることの無いような色を花の色に使用する事で自由を表現していました。学内はとても賑やかで、展示・上映・物販・模擬店・ステージなどの企画が繰り広げられていました。またお笑い芸人、大道芸、アーティストライブも盛況で、お馴染みの本郷町会の焼きそば屋台も出店されました。 上田 耕一郎(75期)



写真提供：都筑写真事務所



## 細江英公先生を偲ぶ会

2025年5月24日(土)、昨年逝去された細江英公先生を偲ぶ会が開催されました。細江先生と親交があった方々や卒業生など多くの皆様にご来場いただきました。細江先生をイメージした赤い薔薇と芍薬を基調とした祭壇の前には、参加された皆様によってしたためられた温かいメッセージカードが並びました。教え子であった吉野弘章学長による開会の言葉、ご子息である細江賢治氏のご挨拶、お二人が学生時代から70年を超える親交があった写真家の立木義浩氏による献杯、細江先生の後を引き継いだ清里フォトアートミュージ

アム現館長の瀬戸正人氏によるご挨拶がありました。写大ギャラリーでは細江英公追悼写真展「写真への愛と尊敬」が開催中で、細江作品の力強さと魅力を改めて感じ、語り合う声を多く耳にしました。そして、細江先生との記念写真や資料などを持参してくださる方もおり、会場の至る所で昔話に花が咲きました。細江先生のお人柄により、偲ぶ会は終始とても暖かく和やかな雰囲気なものでした。

勝倉 峻太(75期)



## 細江英公先生を悼む

学長 吉野 弘章

本学の第29期生であり、名誉教授であった写真家の細江英公(ほそえいこう)先生が2024年9月16日に91歳で逝去された。

1933年生まれの細江先生は、1954年に東京写真短期大学であった本学を卒業し、1960年代には〈おとこと女〉〈薔薇刑〉〈鎌鼬〉など、肉体をモチーフとした数々の先鋭的な作品を発表して、若くして国際的に評価される写真家になられた。

また細江先生は、写真家という表現者としての活動だけでなく、本学では教授として長きにわたって教鞭を執られ、常に教育に対して熱い情熱を注がれていた。

そして細江先生は、欧米の美術館やギャラリーなどにおけるアートとしての写真の収集や展示の在り方を日本に根付かせるため、様々な啓蒙運動を先導された。とりわけ本学においては、写真教育におけるオリジナルプリントの重要性を説き、また国内に写真作品を収集・展示するような公立美術館などが存在しなかった1975年に、オリジナルプリントを収集・展示する、常設公開施設である写大ギャラリーを開設することに尽力された。以降2003年に大学を定年退職されるまで、運営

委員長として数多くの写真展を企画され、優れた手腕を発揮された。そのような写大ギャラリーも現在では美術館相当施設として認定され、今年は開設50周年を迎えることができた。

また1979年には、後輩である本学の学生たちの新しい写真表現への挑戦を奨励するために「フォックス・タルボット賞」の設置を提案。「フォックス・タルボット賞」は、優秀な学生の作品に対して奨励金を出し、作品を写大ギャラリーの永久コレクションとするもので、これまでに多くの優れた写真家を輩出している。

本学同窓会においては、2001年から2017年まで副会長を努められ、退任後の2017年からは顧問として会の発展に尽力された。

私は大学院において細江先生から直接指導を受けることができた。現在、私が学長としてここにいるのは、まさに細江先生のおかげであり、細江先生と出会えたことは本当に幸運であったと思う。

東京工芸大学の学長として、そして教え子の一人として、細江英公先生に深く感謝するとともに、ここに謹んでご冥福をお祈りする。



筆者と細江先生  
写大ギャラリー前にて、2018年



写大ギャラリー「人間写真家 細江英公」展オープニング  
旭日重光章受章祝いの会、2018年1月22日@中野キャンパス



## 韓国での作品上映会と同窓会韓国支部の方々との交流

芸術学部インタラクティブメディア学科 大久保 真道

東京工芸大学芸術学部は、2025年9月5日に韓国・ソウル市の韓国芸術総合学校(Korean National University of Arts、以下KARTS)映像院アニメーション学科と合同で、学生作品の上映会を同校映像院大試写室にて開催しました。本学からは、アニメーション学科のキム・ハケン准教授と、インタラクティブメディア学科の大久保真道教授が参加し、それぞれの学科の学生によるアニメーション作品を紹介しました。上映会はKARTS設立30周年記念行事の一環として外部にも公開され、学内外から多数の来場者を迎えての開催となりました。

芸術学部では、国際的な協力のもとで作品制作や展示活動を行っており、本上映会も「東京工芸大学工芸融合研究事業」の一環として助成を受けて実施されました。これを通して、本学の教育成果を社会へ発信するとともに、国際交流をいっそう深める機会となりました。

この上映会に先立ち2025年7月の同窓会総会の日には、写真学科の上田教授より韓国支部長のハン・スンタク氏(65期



氏をご紹介いただき、その際に9月の上映会のご案内を差し上げたところ、ウィークデーの昼間にもかかわらず、韓国支部から、ソン・ムンズン氏(65期

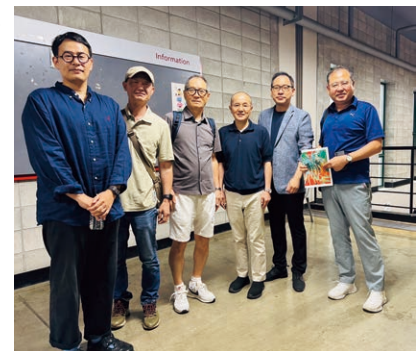
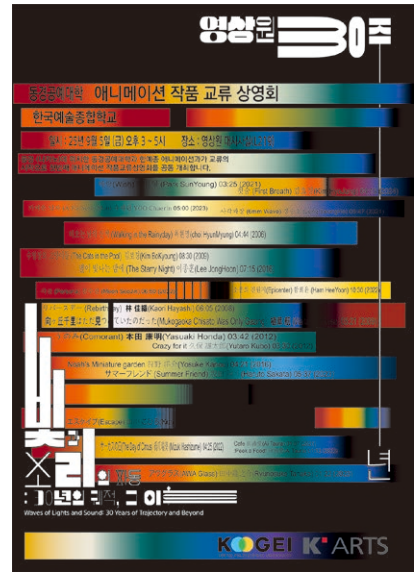


写真技術科)、キム・デヒョン氏(72期 写真応用科)、ハン・スンタク氏(73期 写真学科)、ミン・ジョンギ氏(73期 デザイン学科)、イム・ジウォン氏(77期 芸術学研究科(大学院))の5名がご来場くださり、上映会の前後の短い時間ではありましたが、たいへん有意義な交流のひとつを持つことができ、大変に励まされました。

帰国後、ハン氏をはじめご来場いただいた同窓会の皆さまからは、次のような温かいお言葉をいただきました。

「その日、一緒に参加したこちらの同窓会の人たちも、工芸大に誇りを持つような機会になりました。韓国以外の大学との交流にも、よい結果につながると思います。来年もまたお会いできるよう頑張ってください。」(ハン・スンタク氏)

「お忙しい日程の中で、一緒に食事の席を設けられず残念でした。次回は前もってスケジュールを合わせ、韓国の卒業生たちと交流できる場を作っていただけたらと思います。今回は卒業生があまり参加できませんでしたが、次はより多くの卒業生とお話しできればうれしいです。ありがとうございました。」(ソン・ムンズン氏)



同門会の方々



# 東京工芸大学芸術学部卒業・ 大学院修了制作展2026に向けて

「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展 2026」が2026年2月13日(金)から15(日)まで3日間、中野キャンパスで開催されます。「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展 2026」は芸術学部31周年目の新たな第一歩となる大きなイベントとなります。

本学の標榜するメディア芸術のジャンルは旧来のファインアートのジャンルと比べまして、先端テクノロジーや社会インフラなど、日進月歩に変化する影響が大きく現れる表現分野でもあります。その年ごとの学生の皆さんの世の中の捉え方や技術の活かし方など、まさに「一期一会のその時代」が形となって表現される芸術ということが出来ます。本芸術学部の、学科や領域という枠組みは変わらずとも、いまこの時代を写し出す表現はその年その学生の皆さんにしか表現の出来ない作品となることでしょう。

本年度も写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガ7学科の卒業研究と大学院芸術学研究科の修了制作研究の成果報告となり、委員会では「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2026」の

展示上映が昨年と同様に円滑に進められるように事務局とも連携を取りながら芸術学部一丸となってしっかりと準備を進めております。どうぞ今の時代ならではのメディア芸術の研究成果を楽しんでいただきながら、また母校の現在の様子もご確認いただければと思います。



東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2026メインビジュアル「夢をはこんで どこまでも」岡崎 月読 (デザイン学科4年)

これから世に羽ばたく新しい可能性を秘めた現役学生にとっては、熟練の卒業生の皆様からの作品へのご感想やご意見は、今後の彼らの将来にとって大なる糧となることと思います。ぜひご鑑賞頂き激励のお言葉を頂けると幸いに存じます。皆様のご来校を心からお待ちしております。

東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展  
委員会委員長 准教授 水谷 元

## 東京工芸大学同窓会主催

# 「卒展×同窓のつどい」開催のお知らせ

### 開催概要

●開催日 2026年(令和8年)2月14日(土)

●場 所 東京工芸大学中野キャンパス2号館  
地下1階「プレイス」(学食)

●時 間 15:00~17:00

※事前申込不要。入場無料。時間内出入り自由。

※卒業制作展の会期中です。

◇卒業制作展に来場された方はどなたでも入場できます。

◇同窓生と恩師、後輩達が集う“おしゃべりの場”としてお気軽にご来場下さい。

◇同窓生の方には記念品を差し上げます。

卒業制作展の会期中に行うイベント「卒展×同窓のつどい」が今年度も開催されます。卒展を見に来られた際に、お気軽にお立ち寄り頂けると幸いです。このイベントは今回で6回目になります。これまで多くの卒業生の方にご参加頂いていて、大先輩の方から若い卒業生、卒展を展示している現役の学生さんまで、幅広い世代の皆さんが集まってワイワイガヤガヤと盛り上がっています。当日は多くの皆様にお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。広報担当 上田 耕一郎(75期)

## 42期写真印刷科同期会

令和7年4月5日(土)、東武浅草駅近くの朝日グループ本社ビル22階 ラ・ラナリータにて42期写真印刷科の同期会を開催しました。大阪、群馬からの参加者を含め11名の同期が浅草に集まりました。隅田川の桜を見ながら学生時代の思い出話などで青春時代を振り返り、楽しいひとときを過ごすことができました。ただ残念なことに仲間の鷲田毅君(大学の理事、同窓会関西支部長を長く務めるなど大学の

発展に尽力された)が亡くなり、今回参加が叶わなかった事が、本当に残念で仲間全員で哀悼の意を捧げます。これから残された我々が彼の分まで長生きし、思い出を大切にしていきたいと願っております。



落合 富士雄(42期)

## 37期東京写真短期大学写真工業科 筒淵美允さん春の叙勲受章

令和7年度春の叙勲で37期写真工業科(化学第一研究室)の筒淵美允さん(83歳)が瑞宝双光章(警察功労)受章の栄に浴されました。筒淵さんは卒業後、北海道警察本部(札幌)に技術吏員として就職。刑事部鑑識課写真係に配属。昭和44年に刑事部科学捜査研究所(科捜研)法医科に配置換え。その後北海道内の各方面本部への転勤を重ね、平成14年3月科学捜査研究所長の要職を最後に定年退職されました。

全国の府県警本部鑑識課に就職された先輩後輩が大勢おりますが、法医学の道に進んだ人は珍しいそうです。退職後は、民生委員、国勢調査員、投票立会人などの公的ボラ

ンティア活動に携わり、東京工芸大学同窓会北海道支部長も長年



務められました。現在も町内会長の要職にあり、地域発展に尽力されておられます。筒淵さんの名誉ある受章に、札幌在住の有志が集い祝意を示しました。

北海道支部 小田俊春(50期)

## 学生の活躍 - 第50回2025JPS展「ヤングアイ」会長賞受賞

第50回2025JPS展「ヤングアイ」は、日本写真家協会が毎年主催する展覧会にて行われるコンテストです。国内にある写真教育を行う大学、専門学校が参加するもので、選抜された2名以上の学生からなるチームによる共同制作作品によって審査されます。本コンテストは2005年から始まり、本学は毎年参加していますが、今年度芸術学部写真学科4年の濱中美唯菜さんと中根健太さんの2人による作品「あの頃を思い出す」は、参加20年目にして、グランプリにあたる「会長賞」を初めて受賞しました。JPS展は全国3会場

で開催されました。

●東京：東京都写真美術館 (B1F展示室) 2025年5月17日～5月25日

●関西：京都市美術館別館 (2F) 2025年7月1日～7月6日

●名古屋：愛知県美術館(8FギャラリーJ室) 2025年7月15日～7月21日



## 令和7年度 前期定例理事会開催報告

令和7年度 同窓会前期定例理事会を、令和7年6月3日(火)16:30～19:30、東京工芸大学中野キャンパス2号館2階2203講義室にて開催いたしました。構成理事31名のところ、20名(委任状含む)の出席により理事会開催が成立し、全ての議案に関してご承認頂きました。

議題

1. 令和6年度事業報告(案)(承認事項)  
(1)事業委員会(2)総務委員会(3)広報委員会(4)名簿委員会
2. 同窓会創立100周年記念事業報告(報告事項)
3. 令和6年度決算報告(案)／監査報告(承認事項)  
(1)会計委員会
4. 令和7年度事業計画(案)(承認事項)  
(1)事業委員会(2)総務委員会(3)広報委員会(4)名簿委員会
5. 同窓会創立100周年記念事業計画(案)(承認事項)
6. 令和7年度予算計画(案)(承認事項)
7. 会則改定について(承認事項)
8. 任期満了に伴う役員改選について(承認事項)
9. 新代表委員候補者について(承認事項)
10. 同窓会会長賞・同窓会奨学金(学部生、大学院生)について(承認事項)
11. 令和7年度定時会員総会について(報告事項)
12. その他

# 第5回全国支部長会議開催報告

第5回全国支部長会議が、令和7年7月23日(水)10:00～13:00、東京工芸大学中野キャンパス6号館3階大会議室にて開催され、北海道、岩手、新潟、東海、関西、香川、韓国の7支部が出席しました。同窓会役員、支部長の紹介に続

いて、各支部から活動状況、今後の展望などの報告があり、支部活性化に向けて有益な情報交換が行われました。

上田耕一郎(75期)

# 新潟支部〈吉野学長を囲む会〉

母校の創立記念日である10月5日(日)、ホテルニューオータニ長岡にて新潟支部主催の〈吉野学長を囲む会〉が開催されました。

まず吉野学長から〈写真から100年 一これまでとこれから〉というテーマのご講演を賜り、その後懇親会となりました。

ご講演は質問タイムが時間オーバーするほど盛り上がり、

懇親会では新潟の郷土料理を味わいながら話に花が咲き、有意義な一時となりました。

三上 賢(61期)



# 展示会・出版の記録

展：展示会名 作：作者 所：場所 期：会期



展：第50回 2025 JPS展  
作：濱中美唯菜、中根健太(写真学科4年)  
所：東京都写真美術館 地下1階展示室  
期：2025.5.17-2025.5.25



展：わたしのともだち～写真家と愛おしい存在の物語～Part5  
作：カワノミオ(写真学科82期)  
所：ソニーイメージングギャラリー銀座  
期：2025.6.27-2025.7.10



展：宝積一蔵 個展「hometown」  
作：宝積一蔵(デザイン学科99期)  
所：ギャラリーハウス マヤ  
期：2025.6.30-2025.7.5



展：東京工芸大学芸術学部写真学科川島研究室(フォトメディア)「写真の実験室」展  
作：東京工芸大学芸術学部写真学科川島研究室(フォトメディア)  
所：東京工芸大学6号館・ギャラリー6B01  
期：2025.7.2-2025.7.7



展：東京工芸大学芸術学部写真学科3年大和田ゼミ(オルタナティブプロセス)「成果発表展II期」  
作：東京工芸大学芸術学部写真学科3年大和田ゼミ  
所：東京工芸大学2号館・メディアラウンジ  
期：2025.7.2-2025.7.8



展：イワクチコトハ個展「まばたき」  
作：イワクチコトハ(デザイン学科98期)  
所：ギャラリーハウス マヤ  
期：2025.7.7-2025.7.12



展：刈田アトム・刈田ルーク作品展「ピリカ」  
作：KARITA BROTHERS STUDIO 刈田アトム(写真学科92期)、刈田ルーク(映像学科97期)  
所：ギャラリー結  
期：2025.5.21-2025.5.31



展：被爆80年一広島・長崎写真展  
作：新藤健一(写真学科39期)  
所：文京シビックセンターアートサロン那覇市民ギャラリー 第2展示室 名護市立中央図書館 展示ホール  
期：【東京展】2025.7.17-2025.7.20  
【沖縄展：那覇市民ギャラリー】2025.7.29-2025.8.3  
【沖縄展：名護市立中央図書館】2025.8.5-2025.8.10



展：桑原仁太 個展「遙か近く誰そ彼」  
作：桑原仁太(写真学科92期)  
所：Alt\_Medium  
期：2025.8.1-2025.8.6



展：芸術学部フェスタ2025  
作：高崎 勉(写真技術科62期)大和田良(写真学科77期)  
所：東京工芸大学6号館・ギャラリー6B01  
期：2025.8.26-2025.9.26



展：梁永明展「旗、変われど」  
作：梁永明(大学院芸術学研究所1年)  
所：photographers' gallery  
期：2025.9.23-2025.10.5



展：立川宏司 写真展「あめまぼろし」  
作：立川 宏司(写真工業科42期)  
所：ギャラリー結  
期：2025.10.4-2025.10.19

